



*U.S. Commercial Service Japan  
Embassy of the United States of America*

主催：米国大使館 商務部

## -アメリカ先端製造技術企業と語る、次世代ものづくりの未来-

### <開催概要>

グローバル市場で加速する「スマート製造」「サプライチェーン変革」。その最前線に立つ**アメリカの製造業・テック企業**が参加し、日本の製造業との**連携・パートナーシップの可能性**について語る実践型セミナーをアメリカ大使館 商務部は開催いたします。

本イベントでは、**米国の工場 DX、AI による品質管理、ロボティクス**などに取り組む企業が登壇し、**最新の導入事例や成果、課題**についてリアルな声をお届けします。また基調講演では米国著名先端技術研究所より、米国の技術開発の将来の方向性等に講演頂きます。

「自社工場のデジタル化を進めたい」「効率化の方法を模索している」—そんな日本の製造業の皆様にとって、今後の方向性を見つける貴重な機会となるはずです。是非ともご参加ください。

日時：

2025年9月10日（水）14:00-16:30

(13:40 開場/14:00-15:40 セミナー/15:40-16:30 ネットワーキング)

会場：

赤坂インターシティコンファレンス（赤坂インターシティAIR 4階）

東京都港区赤坂1-8-1 ※会場は現地のみとなり、オンライン配信はございません。

最寄り駅は溜池山王駅・国会議事堂前駅です。地上ルートの場合、9番出口から徒歩2分。

地下ルートの場合、14番出口から赤坂インターシティ AIR の地下1階に直結。

使用言語：

日本語

申込方法：

URL

<https://events.trade.gov/TradeGov/CSJapanMultipleCompanyPromotionUSMan>

ufacturingTech/または QR コードよりお申込みください。参加費は無料です。



参加登録にあたり、当方商務省/ITA のシステムのアカウント作成が必要です。  
(所要時間 1-2 分)。アカウント作成方法は [こちら](#)。

定員：

90 名

(お席に限りがあるためご興味のある方はぜひお早めにお申込みください)

申込締切：

9 月 8 日 (月) 17 時まで (期日前でも定員に達し次第締切)

お問い合わせ：

アメリカ大使館 商務部 大橋 ([Yu.Ohashi@trade.gov](mailto:Yu.Ohashi@trade.gov))

【プログラム】 ※プログラム、講演内容につきましては変更する場合があります。予めご了承ください。

14:00-14:05	<b>第一部：開会のご挨拶</b> (在日米国大使館 グレゴリー・テーブス商務担当公使代理)
14:05-14:35	<b>基調講演『イノベーションの加速：産業の未来を牽引する米国の技術研究開発と日米連携を深める』</b> <b>SRI International</b> <b>Country Managing Director &amp; VP of Business Development</b> <b>イギデル・ユセフ (Youssef Iguidar) 氏</b>  (講演内容) SRI インターナショナルは、インターネットの原型「ARPAnet」、コンピューターマウス、遠隔操作手術システム「ダ・ビンチ」や、AI 搭載の「Siri」など、人々の生活を変える技術を生み出してきた米国の技術研究開発機関です。AI、ロボティクス、デジタルエンジニアリングなど、産業と製造業を変革する米国の技術研究開発の新たなトレンドについて考察します。米国政府資金による研究を実社会へのインパクトへと転換してきた長年の経験に基づき、現在も活用されている永続的な技術、製造業の未来を形作る現在の優先事項、そして日米連携の成功事例を取り上げます。戦略的なイノベーション・パートナーシップが共通の課題に対処し、新たな産業価値を創出する方法について洞察を提供します。

14:35-14:55	<p>『業務効率向上が必要な現場のための費用対効果が高いテクノロジー』</p> <p>日本ハネウェル株式会社 プロダクティビティソリューションズ事業 部長 ジョン・デービス (John Davis)氏</p>  <p>(講演内容) ハネウェルは、現場の生産性、業務効率、安全性を向上させるエンタープライズソリューションを提供する会社です。日本は労働人口の減少に直面しており、生産性向上の重要性が高まっています。完全自動化は人手不足の危機を解決する一つの解決策です。すべての企業が自動化を導入できるわけではなく、すべてのプロセスが完全な自動化に対応できるわけではありません。ハネウェルは、自動化とシンプルな効率性向上をバランスよく組み合わせ、日本企業のニーズに適合しています。今回は、費用対効果が高く、バランスの良いソリューションをご紹介します。</p>
14:55-15:15	<p>『製造業の自動化領域における米国スタートアップと日本企業のコラボレーションのありたい姿』</p> <p>Realtime Robotics Inc. VP of Business Development Japan 小林 幸司氏</p>  <p>(講演内容) Realtime Robotics は、ロボットの動作計画を自動生成する AI ソリューションを持つ米国スタートアップです。自動車 OEM、部品 Tier1、Sier など、ロボットによるものづくりの自動化を加速する多くの国内企業でご活用いただいています。今回は、スタートアップと企業が互いに期待することの GAP や共創の成功事例について、両方の視点と立場からご紹介します。</p>
15:15-15:35	<p>『大手 EV メーカーを顧客にもつシリコンバレー発の外観検査ソリューション』</p> <p>UnitX Labs Business Development 加藤 康氏</p>  <p>(講演内容) UnitX はシリコンバレー発のスタートアップで、特殊な照明装置と高性能の AI を駆使した外観検査ソリューションを展開しております。従来は人間が行っていた検査を、より正確に、より高速に、より多様な検査を実現する技術を持っています。現在米国、中国、日本、東南アジアに顧客を持っており、業界トップの EV メーカーや電池メーカー、家電メーカーでの実績があります。今回は UnitX の検査ソリューションの特徴と、そこで使用されている先端技術をご紹介します。</p>
15:35-15:40	<p>第一部：閉会のご挨拶 (在日米国大使館 商務部 マイケル・ミドルトン上席商務官)</p>
15:40-16:30	<p>第二部：コーヒーネットワーキング</p>